

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通体系調査

2023年

自動車依存度の高い本都市圏においては、交通渋滞の軽減、公共交通の利便性向上・利用促進が課題となっています。

今回の調査では、これらの課題解決に向けて、大規模サンプル調査の実施により、今後の望ましい交通のあり方を検討しています。

調査主体

沖縄県 土木建築部 都市計画・モノレール課

調査対象圏域

沖縄本島中南部都市圏

(那覇市、沖縄市、うるま市、浦添市、宜野湾市、豊見城市、糸満市、南城市、読谷村、南風原町、西原町、八重瀬町、北谷町、中城村、与那原町、北中城村、嘉手納町)



図 調査対象範囲

資料：令和5年度 第4回パーソントリップ調査・検討業務 報告書より作成

調査圏域人口

116.5万人（5歳以上 R5.1.1住基）

調査手法

沖縄 PT 調査のトリップ調査は、「郵送・Web併用方式」で実施しています。この方式は、調査対象者に調査物件を郵送配布し、調査対象者が郵送または Web で回答する方式です。

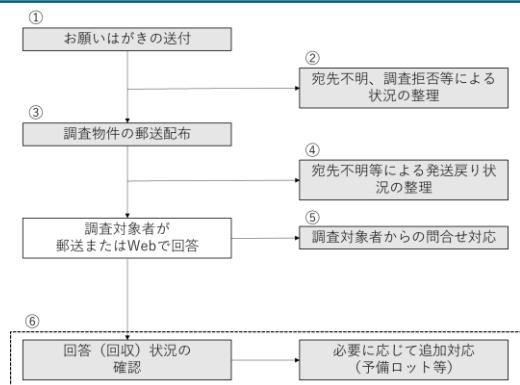


図 調査手法

出典：令和5年度 第4回パーソントリップ調査・検討業務 報告書

調査体系

沖縄本島中南部都市圏におけるPT調査は、1日の交通行動実態を捉える本体調査と本体調査では把握できない事項を捕捉する付帯調査にて構成されています。付帯調査は、日常的な活動実態に関する調査（付帯①）にて、1日のトリップ調査（本体調査）では捉えにくい通院や、娯楽・趣味、送迎の実態を調査し、非定常的な生活圏を把握しています。

新たなモビリティサービスに関する調査（付帯②）では、SP調査により新たなモビリティが導入された場合の利用意向を把握しています。

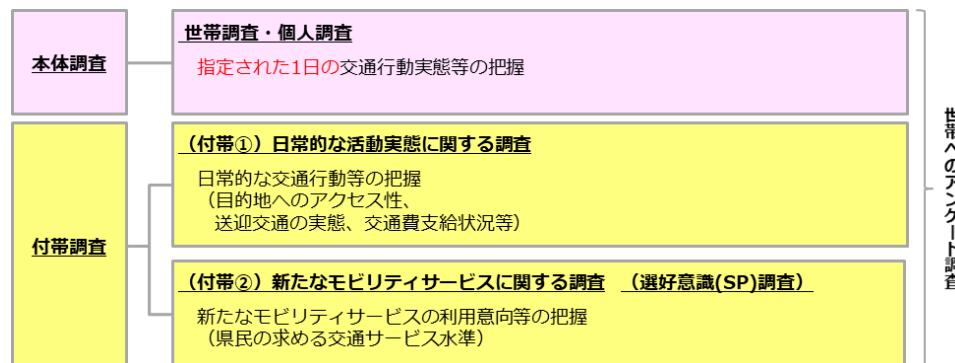


図 調査体系

出典：令和5年度 第4回パーソントリップ調査・検討業務 報告書

本体調査・日常的な活動実態に関する調査

本体調査では主に通勤・通学といった毎日の定的な交通実態や、個人や世帯の属性について調査しています。一方で、付帯調査①では生活行動実態調査として、本体調査で把握できない交通状況や、経済状況、公共交通利用状況といった生活環境に直結する情報について把握しています。

○日常的な活動実態に関する調査の調査項目

- ・目的別外出頻度
- ・目的地まで歩ける時間
- ・通勤にかかる費用と会社の負担状況
- ・在宅勤務の頻度
- ・送迎交通の送り先と頻度

選好意識（SP）調査

公共交通の利用促進施策を導入したときの公共交通の利用意向を尋ねるために、SP調査を実施しています。

公共交通の利用促進施策としては、

- ①基幹公共交通網の拡充や新たな公共交通システムの整備といったモビリティの整備
 - ②交通結節点といったインフラの整備
 - ③通勤費の支給や駐車料金の規制といったTDM施策
- の3つを評価できるように設問を作成しています。

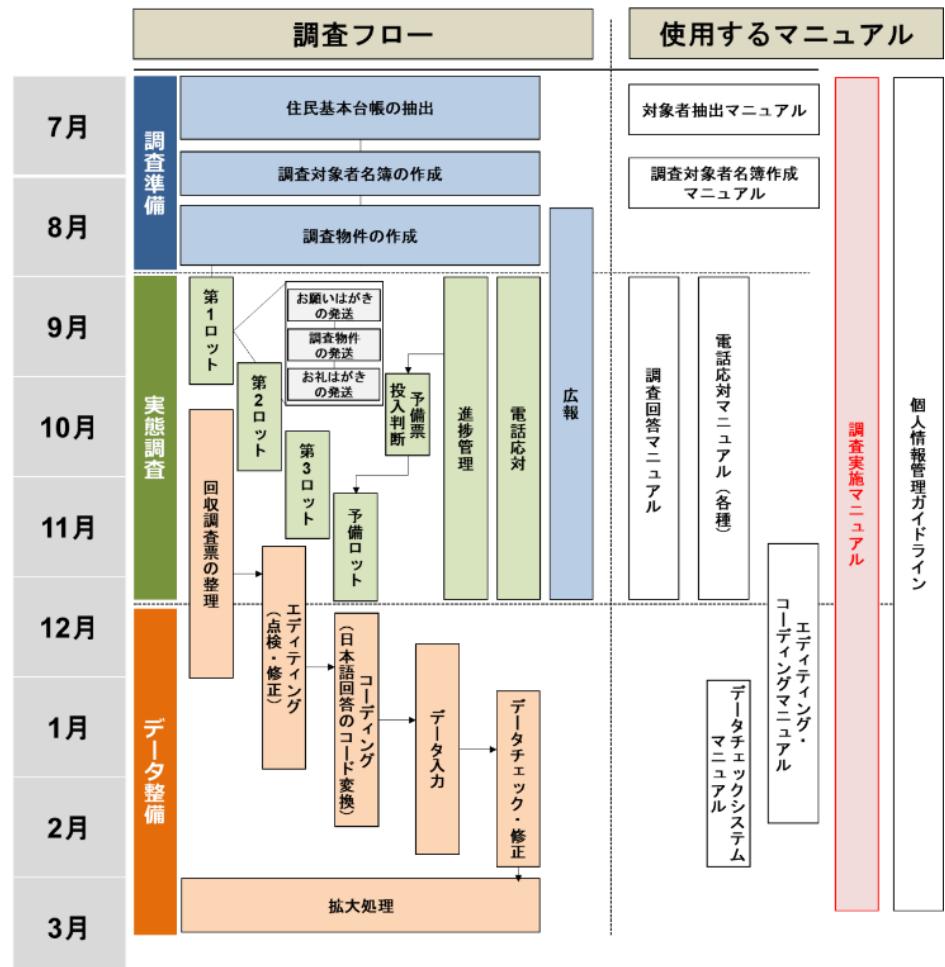
標本設定の考え方

ゾーン（設計用のCゾーン131）別に目的4区分（通勤・通学、業務、私事、帰宅・その他）、手段3区分（自動車、公共交通、徒歩・二輪車・その他）で統計的な精度を確保できるように、4.94%を標本率として設定し、調査を実施しています。

調査スケジュール

7月から8月にかけて調査準備を実施し、9月から実態調査を実施できるような調査スケジュールで取組んでいます。

表 詳細スケジュール



回収率

最終結果は以下の通りとなります。このとき、実際の標本率（母集団に対する取得したサンプルサイズ）は3.88%となります。分析するゾーンを100ゾーン程度に粗くするか、または95%で担保される相対誤差の大きさ(23%)に留意しながら分析単位をCゾーンとしていることで、目的に合った分析を実施しています。

各調査票における最終的な有効票数

	世帯票	個人票	日常票	SP
回収目標	25,100	57,500	6,375	2,125
最終結果	22,715	45,256	4,669	1,680
達成率	90.5%	78.7%	73.2%	79.1%

出典：令和5年度 第4回パーソントリップ調査業務 報告書

検討体制

検討にあたっては、委員会、幹事会、作業部会、事務局会議の4つを設置し、取組んでいます。

表 検討体制

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通協議会（委員会）
(委員長：埼玉大学教授 久保田 尚)

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通協議会（幹事会）
(幹事長：沖縄県土木建築部建築都市統括監)

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通協議会（作業部会）
(作業部会長：沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課長)

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通協議会 事務局
(沖縄県土木建築部都市計画・モノレール課)

市町村連絡会

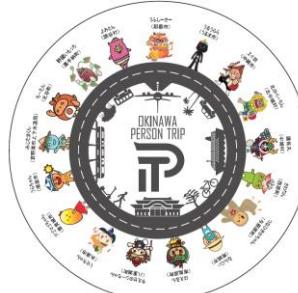
出典：令和5年度 街路交通調査 成果の概要

広報の取組

PT調査の周知や協力のお願いを目的とした広報用のチラシ、ポスター等の印刷を行っています。（チラシ(A4) 5千部、ポスター(A2) 2千部：カラー、ステッカー2千部）



ポスター



ロゴステッカー



チラシ



出典：令和5年度 第4回パーソントリップ調査業務 報告書

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通体系調査

2023年

都市交通調査データ活用サイト 国土交通省
都市交通調査プラットフォーム

調査票

世帯票、個人票、付帯調査票①（日常的な活動実態に関する調査票）、付帯調査票②（新たなモビリティサービスに関する調査）、※付帯調査票①及び付帯調査票②（SP調査）は、Web調査での回答を選択した者のみに調査を行う形式としています。

世帯票

固人票

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通体系調査

2023年

調査票

世帯票、個人票、付帯調査票①（日常的な活動実態に関する調査票）、付帯調査票②（新たなモビリティサービスに関する調査）、※付帯調査票①及び付帯調査票②（SP調査）は、Web調査での回答を選択した者のみに調査を行う形式としています。

第4回沖縄本島中南部都市圏バーソントリップ調査

■記入方法
・黒のボックスで記入
・赤印は記入
・緑印は該当する場合は、該当する箇所に○を記入
・緑印は該当する場合は、該当する箇所に○を記入

問1 世帯票記入欄にお答えください。
世帯票の□に○を記入
□ 人目

問2 ここ1年間での自宅からの外出についてお聞きします。
(1)~(4)の目的別に、訪れた場所、頻度、かかった時間、移動手段などについてご記入ください。

自宅からの外出	(1) 食料品・日用品の買い物	(2) 食料品・日用品以外の買い物	(3) 飲食・趣味	(4) 通院・介護
ここ1年で (1)~(4)の目的で 出かけましたか?	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった
主に訪れた場所を 住所 (丁目) と 具体的な施設名でお答えください。 当該施設がない場合は、最も近い施設名のところへ記入してください。	市村 丁目	市村 丁目	市村 丁目	市村 丁目
施設名 (例: ●●スーパー店舗)	施設名 (例: ●●書店店舗)	施設名 (例: ●●ジマ商店舗)	施設名 (例: ●●中央クリニック)	
その他の 訪問頻度は どのくらいですか?	1. 年に 2. 月に 3. 週に	回程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に	回程度
その他の 移動手段に 何分かかりますか?	約 分	約 分	約 分	約 分
その住所までの 主な移動手段は 何ですか? ※1つ選択	1. 自転車・バイク (自分で運転) 2. 自転車・バイク (他人が運転) 3. バス・モノレール 4. 徒歩・自転車 5. タクシー 6. その他			

問3 あなたは目的地までどのくらいの時間なら歩きますか?
分

問4-1 会社を出勤するお支度費はどのくらいですか?
あなたの通勤にかかる費用をお答えください。
(駐車代、ガソリン代、バス・モノレール賃貸など)

問4-2 会社が負担するお支度費はどのくらいですか?
1. 全額会社支給
2. 用賃費で会社負担 ○ 能度額
3. 全額自己負担

問5 通勤をお持ちの方をお答えください。
あなたの通勤にかかる頻度で在宅勤務をしていますか?
1. 週1回以上
2. 週3回以上
3. 週1日
4. それ未満
5. していない

第4回沖縄本島中南部都市圏バーソントリップ調査

*ご参考が御りましたら、「付帯調査票の内容を確定する」ボタンを押してください。

付帯調査票

■記入方法
・黒のボックスで記入
・赤印は記入
・緑印は該当する場合は、該当する箇所に○を記入
・緑印は該当する場合は、該当する箇所に○を記入

問1 世帯票記入欄にお答えください。
世帯票の□に○を記入
□ 人目

問2 ここ1年間での自宅からの外出についてお聞きします。
(1)~(4)の目的別に、訪れた場所、頻度、かかった時間、移動手段などについてご記入ください。

自宅からの外出	(1) 食料品・日用品の買い物	(2) 食料品・日用品以外の買い物	(3) 飲食・趣味	(4) 通院・介護
ここ1年で (1)~(4)の目的で 出かけましたか?	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった	1. 外出した 2. 外出しなかった
主に訪れた場所を 住所 (丁目) と 具体的な施設名でお答えください。 当該施設がない場合は、最も近い施設名のところへ記入してください。	市村 丁目	市村 丁目	市村 丁目	市村 丁目
施設名 (例: ●●スーパー店舗)	施設名 (例: ●●書店店舗)	施設名 (例: ●●ジマ商店舗)	施設名 (例: ●●中央クリニック)	
その他の 訪問頻度は どのくらいですか?	1. 年に 2. 月に 3. 週に	回程度	1. 年に 2. 月に 3. 週に	回程度
その他の 移動手段に 何分かかりますか?	約 分	約 分	約 分	約 分
その住所までの 主な移動手段は 何ですか? ※1つ選択	1. 自転車・バイク (自分で運転) 2. 自転車・バイク (他人が運転) 3. バス・モノレール 4. 徒歩・自転車 5. タクシー 6. その他			

問3 あなたは目的地までどのくらいの時間なら歩きますか?
分

問4-1 会社を出勤するお支度費はどのくらいですか?
あなたの通勤にかかる費用をお答えください。
(駐車代、ガソリン代、バス・モノレール賃貸など)

問4-2 会社が負担するお支度費はどのくらいですか?
1. 全額会社支給
2. 用賃費で会社負担 ○ 能度額
3. 全額自己負担

問5 通勤をお持ちの方をお答えください。
あなたの通勤にかかる頻度で在宅勤務をしていますか?
1. 週1回以上
2. 週3回以上
3. 週1日
4. それ未満
5. していない

第4回沖縄本島中南部都市圏バーソントリップ調査

新たなモビリティサービスに関する調査

以下の説明をご確認いただき、「新たなモビリティサービス」と「自動車」のどちらか利用したい方をご選択ください。
免許をお持ちではない方は、持っていることを想像してお答えください。

問1 あなたは新たなモビリティサービスを利用することありますか?
是もしくは自動車ではない方は、持っていることを想像してお答えください。

問2 あなたは新たなモビリティサービスと自動車のどちらを利用しますか?
1. 新たなモビリティサービス
2. 自動車

新たなモビリティサービス
結節点での歩道
24時
時間通りに着かないことがあります

自動車は渋滞に巻き込まれて時間通りに着かないことがあります

駐車料金は自己負担です

新たな公共交通システムは
結節点から目的地まで
時間通りに運行します

所要時間: 100分
(最大 100分以内可操作性あり)
料金: 60円

どちらか選択
○ 新たなモビリティサービス
○ 自動車

※付帯調査票の内容を確定する

次の説明へ

付帯調査票①（日常的な活動実態に関する調査票）

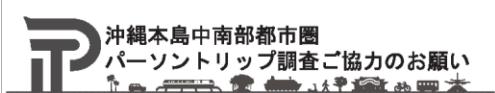
②（新たなモビリティサービスに関する調査）

沖縄本島中南部都市圏総合都市交通体系調査

2023年

各種調查物件

お願いはがき、発送用封筒（窓枠付）、返信用封筒、ご協力のお願い、調査のご説明、個人要記入例、バスマップ（第3ロットのみ封入）、お礼兼督促はがき



日頃から沖縄県政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、沖縄本島中南部において、17年ぶりとなる「バーソントリップ調査」を実施いたします。この調査は、県民のみなさまの「ある一日」の移動を調べるアンケート調査で、調査結果は、今後の交通計画やまちづくりなどを検討する際の貴重な材料となります。

今回、沖縄本島中南部にお住まいの方を対象に、住民基本台帳（令和5年6月末時点）からランダムに調査世帯を抽出したところ、あなたの世帯が調査対象に選ばれました。

回答に際しまして、みなさまには非常にお手数をおかけいたしますが、沖縄県のさらなる発展のためご協力くださいますようお願い申し上げます。

沖縄県知事 玉城 デニー

※今後、2週間をめどに調査票をお送りします。
調査票にご記入後、返信いただかず、WEBにログインしてご回答ください。
※ご回答いただいた内容は、県で厳重に管理し、調査目的以外には使用せず、
個人情報が公表されるようなことは一切ございません。

お願いはがき



発送用封筒（窓枠付）

各種調査物件

お願いはがき、発送用封筒（窓枠付）、返信用封筒、ご協力のお願い、調査のご説明、個人票記入例、バスマップ（第3ロットのみ封入）、お礼兼督促はがき



900 8790

那覇中央郵便局留め

〔那覇市泉崎1丁目2番2号〕
沖縄県土木建築部
都市計画・モノレール課
企画班
行

返信用封筒

ご協力ありがとうございます。

切手を貼らずに投函してください。



沖縄県

調査受託者：(一財)計画計画研究所・(株)中央建設コンサルタント

返信用封筒



〒123-4567
沖縄県●●市●●●1-23-45 ABCDマ
ンション
沖縄 太郎 様
1-1
123-456-7890-100001
1000001

△この用紙は、調査を終えるまで、大切に保管して下さい。調査に必要な情報が記載されています。

沖縄本島中南部都市圏 パーソントリップ調査へのご協力のお願い

日頃から沖縄県政の推進につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、沖縄本島中南部において、17年ぶりとなる「パーソントリップ調査」を実施いたします。この調査は、県民のみなさまのある一日の移動を調べるアンケート調査で、調査結果は、今後の交通計画やまちづくりなどを検討する際の貴重な材料となります。

今回、沖縄本島中南部にお住まいの方を対象に、住民基本台帳（令和5年6月末時点）からランダムに調査世帯を抽出したところ、あなたの世帯が調査対象に選ばれました。

回答に際しまして、みなさまには非常に手数をおかけいたしますが、沖縄県のさらなる発展のためご協力くださいますようお願い申し上げます。

なお、ご回答いただいた内容は、県で厳重に管理し、調査目的以外には使用せず、個人情報が公表されるようなことは一切ございません。

令和5年9月 沖縄県知事

知事写真

ご回答に必要な情報

インターネットによる回答に必要な情報

整理番号：123-456-7890
パスワード：a1b2c3d4e5

沖縄県パーソントリップ調査

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/goshi/teitoku/no/kikaku/risho-hp/4phi-hp.htm>

あなたの調査日

令和5年
●月 ●日 (●)

下記の期日までに回答または提出して下さい

令和5年
●月 ●日 (●)

ご協力のお願い

出典：令和5年度 第4回パーソントリップ調査業務 報告書

各種調査物件

お願いはがき、発送用封筒（窓枠付）、返信用封筒、ご協力のお願い、調査のご説明、個人票記入例、バスマップ（第3ロットのみ封入）、お礼兼督促はがき

